

原子力長計の検討にあたり要望したい事項（私見）

2004 年 4 月 14 日

内藤 正久

I. 「原子力の位置付け」と「官民の役割分担」を明確化した基本方針を  
明示していただきたいこと。

A) エネルギー問題についての一つの考え方

- 1) 4 つの視座
- 2) 世界の System を日本の観点から check し、参考にする姿勢。特にフランスと米国。必要応じフィンランド/中国/イギリス/ドイツ。

B) 4 つの視座と検討 points

- 1) 市場
  - a. price mechanism の「効用」と「限界」
  - b. 原子力 rule 作りで rule 設立者が検討すべき point
    - エネルギー安全保障
    - 安全確保
    - 環境保全
    - 危機管理
    - 長期的研究管理
    - その他
  - c. players が検討すべき point
  - d. market performance として検討すべき point
- 2) 国際政治
  - a. 供給の安定性の確保
  - b. 新 NPT の動き
  - c. “国際機関” の活用
  - d. 国際貢献
  - e. Bargaining Power
- 3) 地球環境
  - a. 現状の客観的分析と公表
  - b. (第 2 約束期間の) 新 rule に「原子力」を位置付け

- 4) 技術
  - a. 焦点の明確化
    - 技術の伝承
    - 長期展望に即した Front Runner の地位維持のため研究
    - 国際貢献
  - b. 平和目的のみの開発の特異性

C) 長計を考える上での points の要約

「総括原価主義」の変化  
事業の性格（「事業の超長期性」）  
「Risk Management」「Damage Management」  
「世界の中で」考える  
他国は軍事目的上の“技術力維持”。“外交上の自立の要素”の重要性。

II. 原子力が自由市場で生き残れる具体策を明示していただきたいこと

- A) 求められる項目の考え方  
自由化後の市場 mechanism に即した system

B) Backend 事業

- 1) 再処理事業の進め方
  - a. 既定方針に再考の余地はあるか？
  - b. 第2再処理工場の扱いは？
- 2) 処理事業 cost 回収のあり方の明確化
  - a. 廃棄物処分の最終責任は国
  - b. 再処理事業運営 cost の分担責任

C) 原子力発電所新規発注

- 1) incentive の付与
- 2) 産業体制の整備

D) 研究開発のあり方について

- 1) 対象とされたい技術分野焦点の明確化
- 2) 技術開発を推進するためのインフラ整備

III. 原子力委員会の意思決定過程と役割についてのお願いしたいこと

A) 意思決定過程につての要望

- 1) 「方針の先行提示」
- 2) 「世界の動きを踏まえた弾力的決定」

B) 原子力委員会・原子力安全委員会・総合エネルギー調査会の一体的な政策推進

- 1) 基本方針と具体的な役割
- 2) 原子力安全委員会との関係

C) 国民への周知徹底

- 1) 「科学技術」への信頼回復のための教育の充実
- 2) マスコミ論調の国際比較と公表
- 3) 委員会の「存在感」、「権威」、「顔」

D) 国と地方公共団体の役割の明確化と今後の見通し

- 1) 役割分担の再評価
- 2) 地方公共団体の今後の対応につての見通しを踏まえた検討